

2018年5月24日

日本メジフィジックス株式会社

PET 検査用放射性医薬品製造拠点「北陸ラボ」竣工のお知らせ 北陸地区での安定供給体制を強化

日本メジフィジックス株式会社（本社：東京都江東区、社長：下田尚志、以下「当社」）は、PET 検査（ポジトロン断層撮影）^{注1} に用いられる放射性医薬品の新たな製造拠点として、富山県小矢部市の小矢部フロンティアパーク内に「北陸ラボ」を建築し、5月24日に竣工式を執り行いましたのでお知らせいたします。

当該 PET 検査に使用される放射性同位元素（¹⁸F）は、半減期が約 2 時間と非常に短いことから供給範囲が制限され、製造から医療機関へのお届けまでの時間を極力短縮する必要があります。そのため当社は、全国に PET 検査用放射性医薬品の製造拠点（PET ラボ）を全国 10 か所に開設し、2005 年から各地域の医療機関に供給してまいりました。

北陸地域においては、愛知ラボおよび京都ラボから配送を行っておりますが、安定供給体制をさらに強化するため北陸ラボの開設を決定し、建設を進めてまいりました。
この度竣工した北陸ラボの概要は以下のとおりです。

名称	：	日本メジフィジックス株式会社 北陸ラボ
開設地	：	富山県小矢部市（小矢部フロンティアパーク内）
規模	：	建築面積 約 1,000 m ² 延床面積 約 2,000 m ²
竣工時期	：	2018 年 3 月
出荷開始	：	2019 年 4 月（予定）
総投資額	：	約 23 億円

北陸ラボの開設により、PET 検査用放射性医薬品の製造拠点は全国 11 か所^{注2} となりました。安定供給体制の強化により、当社は従来にも増して医療現場のニーズに応えるとともに、PET 検査を必要とされているより多くの患者さんの健康増進に寄与したいと考えております。

放射性医薬品を用いた核医学検査は、脳卒中、認知症、心臓病ならびに悪性腫瘍など幅広い疾病の診断に有用とされています。当社は、住友化学株式会社と GE ヘルスケア（英国）の合弁企業で、放射性医薬品のトップメーカーとして、高品質な製剤の開発、製造、供給に取り組んでまいりました。今後も医療のさらなる発展のために貢献を続けてまいります。

本件に関するお問い合わせ先

日本メジフィジックス株式会社（URL: <http://www.nmp.co.jp>）

総務部（広報担当）	兵庫県尼崎市潮江 1-2-6	電話 06-4300-5541	Fax 06-6492-2549
本 社	東京都江東区新砂 3-4-10	電話 03-5634-7006	Fax 03-5634-5170

注1

放射線を放出する微量の薬剤を患者さんに注射し、薬剤が病気の患部に集まる様子を体外から撮影することにより、病気の状態を診断する画像検査法の一つです。悪性腫瘍等の診断に有用とされており、全国約400施設の医療機関で診断が行われています。

注2

PETラボ開設地は以下の通りです。

北海道札幌市、岩手県北上市、群馬県藤岡市、東京都江東区、神奈川県小田原市、
富山県小矢部市、愛知県豊田市、京都府八幡市、兵庫県神戸市、岡山県岡山市、
福岡県久留米市 (計11ヵ所)

以 上